

ILSI Japan 活動報告<2021>

事務局

【ILSI Japan 総会】

| | |
|----------|---|
| 1, 2 月 | 令和 3 年通常総会が 2 月 24 日（水）午前 10 時より Web（Zoom）にて開催された。 審議事項 第 1 号議案 2020 年度事業活動報告及び決算報告案が承認された。 第 2 号議案 2021 年度事業活動計画及び収支予算案が承認された。 2 つの議案について共に質問はなかった。 報告事項 本部動向 以下の報告を事務局長から説明した。 1. グローバル組織再編の動き 2. グローバル・リサーチ・ワーキング・グループの設立 3. ILSI グローバルサイエンスシンポジウムの開催 理事長選任 安川理事長から児島理事長へ交代する旨報告した。 |
| 3, 4 月 | |
| 5, 6 月 | |
| 7, 8 月 | |
| 9, 10 月 | |
| 11, 12 月 | |

【事務局】

| | |
|----------|---|
| 1, 2 月 | 味の素（株）から山口隆司氏が 1 月より ILSI Japan CHP へ出向となった。 |
| 3, 4 月 | 4 月 1 日に 辻本信晴氏が味の素（株）より事務局次長に就任。山口隆司氏 CHP 代表に新たに就任。取出恭彦氏 CHP 代表を退任。 |
| 5, 6 月 | 6 月 1 日に中村英世氏から辻本信晴氏へ事務局長交代。6 月末に前出の中村氏、出向を解かれ花王（株）へ帰任。 |
| 7, 8 月 | 7 月 1 日より味の素㈱所属の佐渡匡次長が就任。 |
| 9, 10 月 | 佐渡匡次長 10 月 21 日付にて業務委託終了。 |
| 11, 12 月 | なし。 |

【理事会】

| | |
|--------|--|
| 1, 2 月 | 第 1 回理事会が令和 3 年 2 月 4 日（木）に開催された。 確認事項 （令和 3 年通常総会決議事項） 1. 2020 年事業活動報告及び決算報告案承認の件 事務局が各研究会、研究部会ごとに事業活動の報告をし、決算の概要を資料に基づき説明した。 2. 2021 年事業活動報告及び収支予算案承認の件 事務局が各研究会、研究部会ごとに事業活動の計画及び収支予算の概要を資料に基づき説明した。 1、2 双方とも異議なく承認された。 |
|--------|--|

| | |
|-------|--|
| | <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 本部動向 事務局長から本部理事会における動向、報告について説明した。 理事長選任 事務局長から安川理事長の辞任により、児島理事を新理事長として選任するため、次回理事会にて承認いただく旨説明した。 <p>承認、報告</p> <p>承認事項</p> <ol style="list-style-type: none"> ILSI Japan 特別シンポジウム 通常総会の日の午後に、I部「AI 栄養研究の目指す方向」と題して2つの講演とパネルディスカッション、II部「ILSI Japan のSDGs への貢献」と題して5つの講演とパネルディスカッションを予定していると説明し、承認された。 AAT プロジェクト 2020年に引き続き、昭和薬科大の山崎先生の食品安全委員会の助成金を活用してATTプロジェクトの研究課題を推進する提案をしたところ、特に異議なく承認された。 食品リスク研究部会 翻訳本出版 元米国FDA職員が著者の“A Natural Mistake”「Natural Mistake」を翻訳してPOD、e-bookにて出版する提案があり、異議なく承認された。 バイオテクノロジー研究会 筑波大学遺伝子実験センターの共同利用・共同研究拠点としての評価をし、今後の活動を継続する要望書をILSI Japanとして提出する提案があり、特に異議なく承認された。 <p>報告</p> <p>2021年 ILSI Japan 総会と理事会のスケジュールの確認</p> |
| 3, 4月 | <p>第3回理事会が令和3年4月19日（月）に開催された。</p> <p><決議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> プロジェクト基金連絡会をSDGs 貢献プラットフォーム基金へ移管 新たにCHP代表に就任した山口隆司氏より資料に基づき説明し、承認された。 理事の選任、退任 新任として国立健康・栄養研究所長の津金昌一郎様、花王（株）執行役員 下豊留（しもとよどめ）玲様の選任と阿部圭一理事の退任が承認された。 <p><承認事項></p> <ol style="list-style-type: none"> AAT プロジェクト JaCVAM（日本動物実験代替法評価センター）ステークホルダー会議への参加 事務局が資料に基づき説明し承認された。 栄養研究部会 第10回ライフサイエンスシンポジウム 2022年開催の上記シンポジウムの背景、開催目的、開催日程・方法、プログラム委員会候補者案、今後の日程について事務局が説明し承認された。 バイオテクノロジー研究会 ERA ワークショップ開催 背景、目的、主催者、参加対象、開催時期、演者と講演内容、開催方法、予算等の案を事務局が説明し承認された。 <p><報告事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 本部動向 |

| | |
|---------|--|
| | <p>事務局より資料に基づき説明した。</p> <p>2. 事務局長の交代 6月1日付で事務局長が中村英世氏から辻本信晴氏へ交代すると事務局から説明した。</p> |
| 5, 6月 | 開催なし。 |
| 7, 8月 | <p>第4回理事会が令和3年7月5日(月)に開催された。</p> <p><決議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 第10回ライフサイエンスシンポジウムの進め方 事務局長より基本的な考え方、目標、目的、開催時期、構成内容、メンバー選出を提案し承認された。 AAT プロジェクト 日本薬物動態学会での発表 事務局長より内容について説明があり承認された。 AAT プロジェクト 日本動物実験代替法学会での発表 事務局長より内容について説明があり、承認された。 「食品開発展 2021」の後援 事務局長より本年10月6~8日東京ビッグサイトにて開催の「食品開発展 2021」の協賛に名義使用(無料)する提案があり、承認された。 <p><報告、承認事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 新研究講座 プロジェクト 進捗 大塚次長より昨年10月から開始された「AI栄養機能プロジェクト」と「AIディアトロフィ研究部門」の2つの共同講座についてそれぞれ活動内容を説明した。 本部動向、その他 事務局長より本部の動向等について説明した。 |
| 9, 10月 | <p>第5回理事会が令和3年10月20日(水)に開催された。</p> <p><報告・承認事項></p> <ol style="list-style-type: none"> ILSI Japan 2021 年収支見込み及び2022年予算に関して 2021年収支見込み、2022年収支予算について ILSI Japan と CHP に分けて説明した。 第10回ライフサイエンスシンポジウム 来年3月3日に WEBINAR 形式で一般企業・個人を対象に定員450名にて開催する。講演者は決定済み、演題は近日中に決定する。 第38回日本植物バイオテクノロジー学会(つくば)大会への協賛依頼 理事長承認案件で、理事会にて報告した。 各研究部会活動報告 各研究会・部会の最近の活動内容について報告した。 ILSI 動向アップデート 以下説明した ○中国連絡事務所の解消 ○国連栄養サミットでの講演内容 ○本部小委員会の内容 |
| 11, 12月 | <p>第6回理事会が令和3年12月14日(火)に開催された。</p> <p><決議事項></p> <p>2022年収支予算案 事務局が2022年収支予算案を説明し承認された。ILSI Japan の立て直し素案を事務局が提案し、議論した。</p> <p><報告、討議事項></p> |

1. 第 10 回ライフサイエンスシンポジウム (2022 年 3 月)
参加申し込み受付を開始、協賛団体や周知協力の学会等に声掛けした。
2. AAT 国際ワークショップ
10 月 21, 22 日に **ILSI Europe** と共同かつ Web 会議形式を採用したワークショップを開催。アジア地区にも紹介し、参加者約 120 名となった。
3. 第 80 回日本公衆衛生学会発表
12 月 21 日ポスター発表。演題名は「高齢者における高タンパク食品の摂取頻度と身体機能の関連性について」。
4. 高齢者の健康活動の論文投稿
ILSI Japan として科学的根拠に基づいた活動を行うため、高齢者の「元気で長生き」のためのツール (**TAKE10!**®) の開発や地方におけるリーダー講習、自治体等からの委託による教室運営等、高齢期の健康に関する活動について “**Nutrients**” に論文投稿した。
5. 東京栄養サミット農水省サイドイベントでの発表
12 月 7 日開催の東京栄養サミットにて、**ILSI Japan** の取組内容と健康寿命延伸に向けて栄養に関連する情報を発表した。
6. 東京栄養サミットの成果文書「コンパクト」への賛同に関して
賛同することにより、**ILSI Japan** を認知させるメリットを勘案し、東京栄養サミットへの参画を記録に残すこととした。
7. **ILSI** 動向アップデート
11 月 10 日に開催の **ILSI Global** 理事会、同 22 日開催の **Assembly** 会議の内容をそれぞれ報告した。